

# 令和3年度支部保険者機能強化予算にかかる 事業（案）について

## 「支部保険者機能強化予算」にかかる事業(案)の検討について

### <趣旨説明>

- ① 支部の保険者機能を発揮するためには、事業主や加入者の行動変容をどう促していくかということが重要
- ② 事業主や被保険者を代表する評議員の意見は、極めて参考になるものと認識
- ③ 評議会において積極的な意見やアイデアをいただき、活発な議論を行いながら検討

本日の御説明する事業は、令和3年度支部保険者機能強化予算にかかるものです。いただいた意見やアイデア等を踏まえ、さらに支部内で追加、変更等整理を行ったうえ、本部提出する予定です。

# 「支部保険者機能強化予算」とは

中長期的な財政運営という観点も踏まえ、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的とし、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組を実施する場合に予算計上する経費のこと。

① 基礎的業務  
関係予算



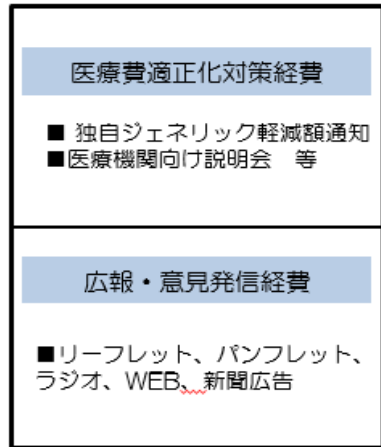
## ② 支部保険者機能強化予算

### <支部医療費適正化等予算>

全体予算枠（8億円程度）

①全体予算枠は、本部方針のほか、財政状況や事業実績等により、必要に応じて見直し。

③予算要求時における(対)支部の配分は原則、支部の歳入と歳出の差額を考慮する。



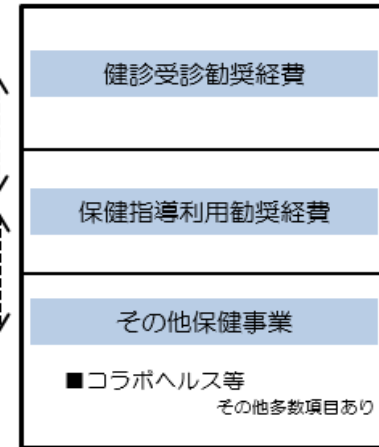
②全体予算枠について、加入者数を基準に按分し、(加入者数の少ない支部への対応として、全支部一律に一定額を定額部分として設定)支部ごとの予算要求の上限を設ける。

### <支部保健事業予算>

全体予算枠（40億円程度）

①全体予算枠は、本部方針のほか、財政状況や事業実績等により、必要に応じて見直し。

③予算要求時における(対)支部の配分は原則、支部の歳入と歳出の差額を考慮する。



②全体予算枠について、40歳以上の加入者数を基準に按分し、支部ごとの予算要求の上限を設ける。

# 和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について（令和3年度）

(単位:円)

事項	項番	新規・継続 事業の別	事業名	予算(案)	
支部医療費適正化等予算	医療費適正化 経費	1	継続	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出版	640,000
		2	継続	保険証の適正使用啓発ポスターの作成及び医療機関への配付	165,000
		小 計			805,000
	広報・意見発信経費	3	継続	紙媒体による広報	1,937,700
		4	新規	地域情報紙とWEBのコラボ広報(LIVING和歌山)	686,400
		5	新規	地域情報誌への広告掲載(まみたん)	1,267,200
		6	継続	県広報誌への広報	1,540,000
		7	継続	バス車両ラッピング広告による広報	528,000
		8	新規	バス車内広告	343,200
		9	継続	バス車内放送広告	396,000
		10	新規	郵便局内での広報用ポスターの掲示	66,000
		11	継続	TV局のスポットCMの活用による広報	396,770
		12	新規	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)	304,000
		13	継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出版ほか	21,499
		14	新規	事業所アンケートの実施	1,468,885
小 計			8,955,654		
支部保健事業予算	保健事業経費	15	継続	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費	8,313,250
		16	新規	被保険者向け 協会主催の集団健診実施	352,000
		17	継続	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨等の外部委託	7,315,000
		18	継続	事業者健診結果データ提供にかかる費用	423,500
		19	継続	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	49,500
		20	継続	生活習慣病予防健診同時勸奨による新規受診者の獲得	1,423,400
		21	継続	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	861,850
		22	継続	被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)	1,175,000
		23	継続	特定保健指導の利用勸奨	649,000
		24	継続	重症化予防対策	594,000
		25	新規	健康経営事例集の作成	957,882
		26	継続	健康宣言事業所サポート事業	1,955,250
		27	継続	健康経営促進セミナーの実施	553,200
		28	新規	事業所カルテ作成事業	330,000
		29	継続	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	310,906
小 計			25,263,738		
合 計			35,024,392		

※予算(案)については今年度予算の枠を参考に策定している。

# 〈支部医療費適正化等予算〉

## 1. 医療費適正化対策経費

事業名	1	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出展			継続事業
実施概要	一般加入者向けに地域情報誌の健康づくりイベント時に健康保険制度、医療費、適正な医療のかかり方、インセンティブ、GEなどに関するセミナーを実施する。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費適正化における意識啓発。</li> <li>・支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上。</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	440,000	委託費一式@200,000円×2回×1.1=440,000円
			委託費	200,000	講師料@100,000円×2回=200,000円
			合計	640,000	

事業名	2	保険証の適正使用啓発ポスターの作成及び医療機関への配付			継続事業
実施概要	医療機関の窓口に掲示していただく保険証の適正使用啓発ポスターを作成して、医療機関へ配付する。医療機関の掲示板等に保険証の適正使用啓発ポスターを掲示してもらうように依頼し、医療機関を受診する加入者に対して保険証の適正な使用を行うように周知を図る。				
期待される効果	加入者に対して保険証の適正使用を啓発することで、喪失後受診による返納金債権の発生を防止する。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			リーフレット印刷費	110,000	ポスター作製代 50円×2,000枚×1.1(消費税)=111,000円
			リーフレット印刷費	55,000	ポスターデザイン費 @50,000円×1.1(消費税)=55,000円
			合計	165,000	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	3	紙媒体による広報			継続事業
作成物	納入告知書同封チラシ ・事業主・事業所担当者への周知及び情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	1,168,200	@5.9円×18,000部×11か月=1,168,200円
			小計	1,168,200	
作成物	事業案内用カレンダー ・健康保険委員への情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	769,500	@285円×2,700部=769,500円
			小計	769,500	
			合計	1,937,700	

事業名	4	地域情報紙とWEBのコラボ広報(LIVING和歌山)			新規事業
実施概要	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナー等を活用し、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度、健診等の周知、情報提供を図る。				
期待される効果	和歌山市近隣地域及び、職域、その他の和歌山県内へ発行され、さらに地域ごとに絞ったチラシ折込も可能という特性から、地域を絞ったイベントや各種事業の広報を行うことができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	528,000	半3段 (@40,000×1.1×12回)=528,000円
				158,400	WEB広報(@36,000×1.1×4回)=158,400円
			合計	686,400	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	5	地域情報誌への広告掲載(まみたん)				新規事業
実施概要	協会けんぽの事業の理解度向上、ジェネリック医薬品使用割合向上、限度額認定証の普及、マイナンバーカードの周知、健診の重要性の啓発、メルマガ登録数の向上等					
期待される効果	協会けんぽの事業の理解度向上、ジェネリック医薬品使用割合向上、限度額認定証の普及、マイナンバーカードの周知、健診の重要性の啓発、メルマガ登録数の向上等	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告料	1,267,200	広告費、製作費一式12回分	
			合計	1,267,200		

事業名	6	県広報誌への広報				継続事業
実施概要	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。 (今年度2回→4回)					
期待される効果	和歌山県全域を網羅する広報誌として、効率的に加入者及び事業主に、直接事業案内や情報提供をすることができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	1,540,000	中面下段縦6cm×横18cmサイズ(@350,000円×4回×1.1)=1,540,000円	
			合計	1,540,000		

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	7	バス車両ラッピング広告による広報			継続事業
実施概要	和歌山市内を走るバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」や「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、市内を走るバス広告は効果的。令和3年度より新たなデザインで掲出予定。				
期待される効果	ジェネリック医薬品使用における意識啓発。 支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上。 健診受診率の向上。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	330,000	側面広告 年間 300000円×1.1=330000円
			委託費	198,000	制作施工撤去料金 180000円×1.1=198000円
			合計	528,000	

事業名	8	バス車内広告			新規事業
実施概要	和歌山市内を走るバス車内に広告及びポスターを掲示し、「ジェネリック医薬品使用促進」や「健診受診促進」の広報を行う。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネリック医薬品使用における意識啓発。</li> <li>支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上。</li> <li>健診受診率の向上。</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	330,000	ポスター広告費用 300,000 (30日)×1.1=330,000
			委託費	13,200	作業費 12,000×1.1=13,200
			合計	343,200	



## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	9	バス車内放送広告				継続事業
実施概要	JR和歌山駅の最寄りのバス停「新地」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネリック医薬品使用における意識啓発。</li> <li>支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上。</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			賃借料	396,000	広告費 月30,000円×12か月×1.1=396,000円	
			合計	396,000		

事業名	10	郵便局内での広報用ポスターの掲示				新規事業
実施概要	県内の主要郵便局(和歌山中央郵便局)の広告スペースに、支部イベント等のポスターを掲示し、郵便局に来所する加入者に向けた広報活動を行う。					
期待される効果	協会けんぽの事業の理解度向上、イベント来客数の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			ポスター掲載費	11,000	ポスター掲載費 @11,000(1か月)×1枚×1か所×1.1(消費税)=12,100円	
			委託費	55,000	ポスターデザイン費@50,000円×1.1=55,000円	
			合計	66,000		

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	11	TV局のスポットCMの活用による広報				継続事業
実施概要	地元TV局のCM枠に提供し、大規模イベントに合わせた集団特定健診の募集案内を中心に広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。					
期待される効果	無料の集団健診受診者の増。 協会けんぽの開催するイベントセミナーでのTV報道増。 健診に対するPR効果。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	396,770	CM制作一式	
			合計	396,770		

事業名	12	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)				新規事業
実施概要	和歌山市を中心とするコミュニティFM放送の録音CM(約20秒)及びパーソナリティによるCMで大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。					
期待される効果	ラジオのリスナーの多い通勤時間帯に絞って、和歌山市、岩出市、紀の川市、海南市の約40~60万人のリスナーに情報を提供することができる。また、パーソナリティによる生CMを活用することで、より詳細な内容を親しみを込めて伝えることが可能であり、健診受診者率の向上やジェネリック使用割合向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	220,000	$100,000 \times 1.1 = 110,000 \times 2 \text{回} = 220,000 \text{円}$	
			委託費	84,000	$2,000 \times 3 \text{回/日} \times 7 \text{日} = 42,000 \times 2 \text{回} = 84,000 \text{円}$	
			合計	304,000		

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	13 「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展ほか					継続事業
実施概要	和歌山県保険者協議会の一員として、和歌山県の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体等と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につなげることを目的に実施されるもの。					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会(保険者協議会含む)の知名度向上</li> <li>・保険者協議会との連携強化</li> <li>・県民(加入者を含む)の健康増進(高血圧・動脈硬化等の生活習慣病につながる健康改善意識の向上)</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			消耗品費	4,219	測定機器用プリンターインク(@3835×1パック×1.1)=4219	
			消耗品費	17,280	測定機器用印字用紙(@1600×3セット×1.1)+送料1000円=6280円+電源コード10,000円	
			合計	21,499		

事業名	14 事業所アンケートの実施					新規事業
実施概要	加入事業所に対し協会けんぽの事業に対するアンケートを行い支部事業のニーズ等を収集することで今後の広報や各種事業(インセンティブ、健康宣言事業、医療費適正化、保健事業等)展開に活用する					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の広報に対する活用</li> <li>・支部課題の抽出</li> <li>・協会けんぽの理解率の向上</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
				961,785	アンケート作成封入封緘一式 @961,785円	
				507,100	アンケート結果入力分析費用一式 @507,100円	
			合計	1,468,885		

## <支部保健事業予算>

### 3. 保健事業経費

事業名	15	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費				継続事業
実施概要	協会主催の集団健診(被扶養者対象特定健診)を開催。骨密度検査などのオプション検査を実施。集団健診を開催するにあたり、対象者へ集団健診開催案内等を送付する。 ①わかやま商工まつりでの集団健診の開催 ②協会主催の集団健診の開催(定例30回分) ③その他イベント等での開催を検討(1回分)					
期待される効果	特定健診受診率の向上のため、協会主催の集団健診の開催規模を拡大し、新規受診者数の獲得を図る。集団健診については、開催1回あたり、100~250名程の受診者数を期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	8,313,250	一式	
			合計	8,313,250		

事業名	16	被保険者向け 協会主催の集団健診実施				新規事業
実施概要	現在、和歌山支部では協会けんぽ主導での被保険者向け集団健診を実施していない。健診機関が不足しているエリアや、中小規模事業所を対象に協会主催の集団健診を実施し受診率向上を図る。集団健診の開催にあたり、加入者の自宅宛てに集団健診開催案内を送付する。					
期待される効果	集団健診での生活習慣病予防健診受診率の向上及び健康意識の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	352,000	一式	
			合計	352,000		

### 3. 保健事業経費

事業名	17	事業者健診にかかる同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨等の外部委託			継続事業
実施概要	委託業者による同意書取得勧奨及び健診結果データ取得勧奨を実施。また、支部にて受領した健診結果(紙)のデータ化(パンチ委託)を行う。				
期待される効果	H30年度から委託を実施しており、委託後の事業者健診実施率順位がH30年度11位、R1年度10位と支部事業者健診実施率向上に貢献しており、引き続き委託により実施率の向上を図る必要がある。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	7,315,000	一式
			合計	7,315,000	

事業名	18	事業者健診結果データ提供にかかる費用			継続事業
実施概要	覚書等を締結している事業所等から健診結果データを提供いただいた際に、データ作成・提供費用の支払いをする。				
期待される効果	年々、データ提供いただける事業所が増加傾向にあり、一部の健診機関だけでなく、事業所単位でデータを取得することで、事業者健診実施率の向上を期待する。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	423,500	データ作成料 @350×1,100×1.1=423,500円
			合計	423,500	

### 3. 保健事業経費

事業名	19	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業				継続事業
実施概要	院内掲示用の特定健診広報用ポスターを作成のうえ、和歌山県医師会を通じて、配布。					
期待される効果	協会けんぽならびに特定健診制度周知による広報効果及び特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	49,500	A3サイズポスター印刷費 @75×600部×1.1=49,500円	
			合計	49,500		

事業名	20	生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得				継続事業
実施概要	前年度生活習慣病予防健診未受診である小・中規模事業所を対象に、事業所及び対象者個人へ受診勧奨を行い、生活習慣病予防健診受診率向上を図る。院内受診の案内だけでなく、項番16の集団健診開催情報を合わせて広報を行い、新規受診者の獲得に取り組む。					
期待される効果	前年度実施率0%を対象としているため、新規受診者獲得による生活習慣病予防健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	1,423,400	一式	
			合計	1,423,400		

### 3. 保健事業経費

事業名	21	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内			継続事業
実施概要	任意継続及び新規適用加入者へ生活習慣病予防健診及び特定健診の案内(一括分+随時分)により、健診制度の周知、受診者数の増加を図る。				
期待される効果	生活習慣病予防健診及び特定健診受診者の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	861,850	一式
			合計	861,850	

事業名	22	被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)			継続事業
実施概要	自治体主催のがん検診会場にて、協会加入者の特定健診も同時に受診できる機会を設定。(22自治体で開催)がん同日実施の集団健診に特化した広報並びに、未受診者への再勧奨を行い、特定健診受診率の向上を図る。集団健診の開催案内を送付する。				
期待される効果	特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	1,175,000	一式
			合計	1,175,000	

### 3. 保健事業経費

事業名	23 特定保健指導の利用勧奨				継続事業
実施概要	特定保健指導に関する事業所および対象者への利用案内を実施し、特定保健指導実施事業所の開拓および特定保健指導実施者数の増加を図る。				
期待される効果	特定保健指導実施事業所の拡大および 特定保健指導初回面談実施者数の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	649,000	一式
			合計	649,000	

事業名	24 重症化予防対策				継続事業
実施概要	<p>①健診機関と連携し、健診当日に血圧高値者へ高血圧予防啓発リーフレットを配布し、医師または看護師等より早期受診を促す。</p> <p>②健診で高血圧症または糖尿病の疑いがある方で、健診後未受診の方を対象に文書勧奨を行っているが、過去2～3年連続対象となっているが未だに受診につながない方を対象に、「マイハルスレポート」を郵送し、受診を促す。(対象者約200人)</p>				
期待される効果	早期受診による重症化の予防	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	220,000	リーフレット 5円×20,000部×1.1=110,000円 デザイン料 100,000円×1.1=110,000
			印刷製本費	374,000	事業準備・設定費用 100,000円×1.1=110,000 マイハルスレポート作成費用 @1,200円×200件=264,000
			合計	594,000	



### 3. 保健事業経費

事業名	25	健康経営事例集の作成				新規事業
実施概要	健康宣言事業所に対し健康経営事例集を配布し、健康づくりの取り組みの参考にしてもらい今後の取り組みに活用していただく。					
期待される効果	・事業所の健康づくり取組の促進、意識向上 ・県や国の認定制度への申請事業所数の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	858,000	取材デザイン一式	
			印刷製本費	99,882	印刷製本費@166.47円×600冊=99,882円	
			合計	957,882		

事業名	26	健康宣言事業所サポート事業				継続事業
実施概要	和歌山県との健康づくりに関する協定に基づいて、健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を県民運動として実施するもの。チャレンジ運動登録事業所を対象に健康づくりのサポートを行うもの。 ○実施事業 ・健康講座・血圧計、体組成計の貸し出し・血管年齢測定器の貸し出し・出前講座、InBodyによる測定会の実施等					
期待される効果	事業所及び被保険者の健康づくりへの参加、健康増進	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	1,955,250	事業所サポート事業一式	
			合計	1,955,250		

### 3. 保健事業経費

事業名	27	健康経営促進セミナーの実施				継続事業
実施概要	健康経営に関する講演等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。 あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。					
期待される効果	・参加事業所の健康経営への理解促進、健康づくりにつながる事業の実施 ・健康宣言登録事業所および健康経営優良法人認定制度の申請事業所の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	553,200	印刷製本、会場費、講師料一式	
			合計	553,200		

事業名	28	事業所カルテ(刷新)				新規事業
実施概要	健康宣言事業の登録事業所に対し、最新データに基づく事業所カルテを提供して、自社の医療費や健診受診の現状を把握することで、事業所内の健康づくりの取組を促進する資料として活用してもらう。 そのほか、健康宣言未登録の事業所に対し、登録勧奨のための訪問時に配布し、健康づくりへの関心を持たせるための参考資料として使用し、健康宣言事業への登録を促す。					
期待される効果	・事業所および保険者の健康づくりの取組の促進、意識向上 ・健康宣言事業への参加の満足度向上 ・健康宣言事業登録事業所数の増加 ・県や国の認定制度への申請事業所数の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	165,000	データ抽出処理 @150,000×1.1=165,000	
			委託費	165,000	デザイン費 @150,000×1.1=165,000	
			合計	330,000		

### 3. 保健事業経費

事業名	29 歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催			継続事業	
実施概要	特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間2回程度 和歌山市内で開催する。 歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。 また、糖尿病重症化予防等に歯周病予防との関連があることから、歯科検診を通じて、歯周病予防につなげる。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな特定保健指導の実施者の拡大につながる</li> <li>・歯科検診で異常が発見された方の早期受診につながる</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	240,000	歯科検診費用一式 1回 120,000円 ×2回=
			会場費	70,906	印刷製本費、会場費一式
			合計	310,906	